

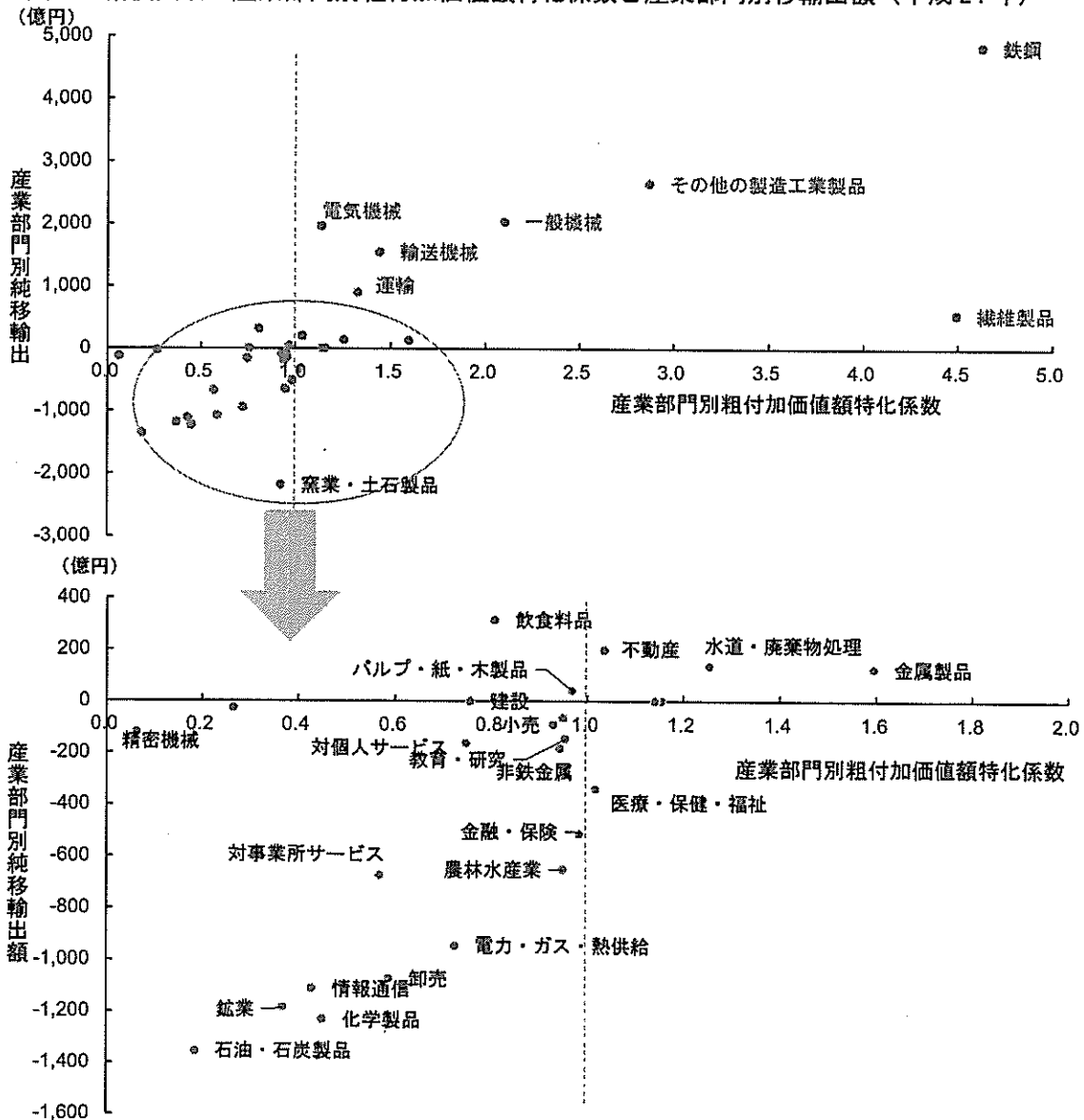
備後圏域の産業構造について

備後圏域

① 基幹産業

- ・ 備後圏域産業連関表を利用して、粗付加価値額特化係数と純移輸出額の2つの指標により備後圏域の基幹産業を把握した（図1）。
- ・ 備後圏域で粗付加価値額特化係数が1を上回る13産業の中から、純移輸出額が群を抜いて大きい鉄鋼、純移輸出額こそ大きくないものの特化係数が4を上回る繊維製品、その他に純移輸出額が比較的大きく特化係数も1を大きく上回る、その他の製造工業製品、一般機械、輸送機械、電気機械、運輸の7つを基幹産業に設定することができる。

図1 備後圏域の産業部門別粗付加価値額特化係数と産業部門別移輸出額（平成24年）

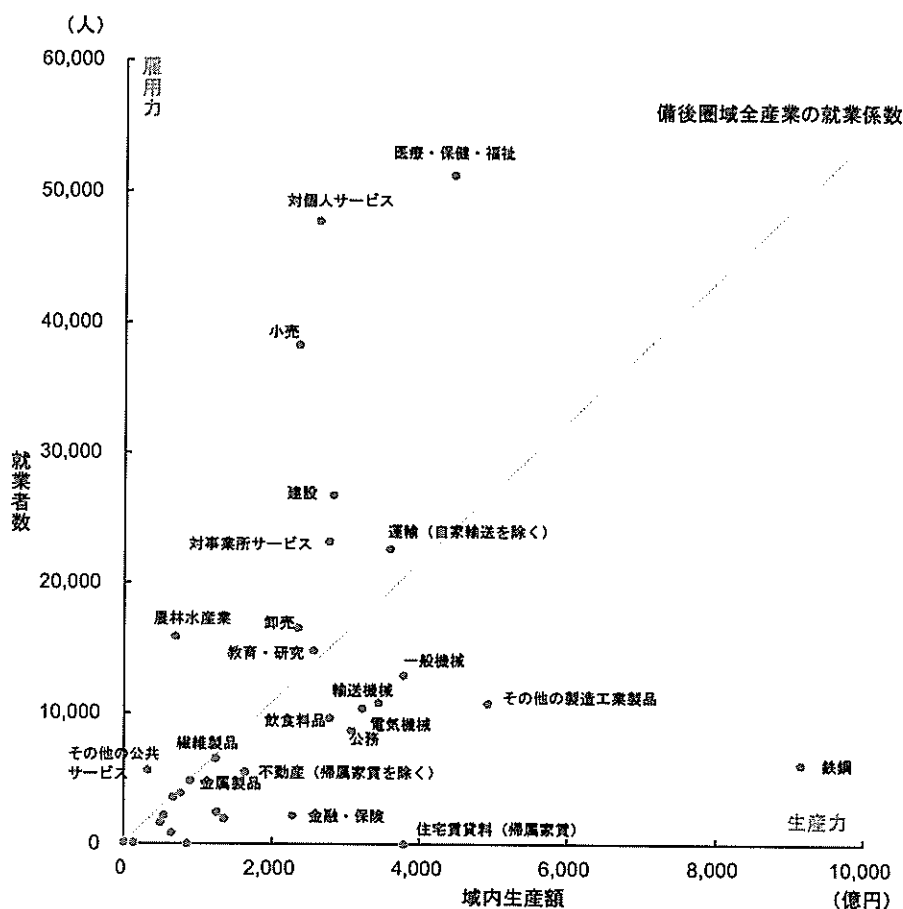


資料：福山市「平成24年備後圏域産業連関表」、総務省「平成23年産業連関表」

②雇う産業

- ・図2は域内生産額を横軸にとり、就業者数を縦軸にして、生産力を有する産業と雇う力を持つ産業をみたものである。
- ・備後圏域では、生産力を有する産業と雇う産業が大きく乖離している。これは、生産力を担う産業が主に第二次産業であり、かつ、まとまった都市圏を形成し、商業・サービス業について一定の自給力を持つ備後圏域の特徴が表れているものと考えられる。

図2 産業部門別域内生産額と就業者数（備後圏域）



- (注) 1. 従業者数は産業連関表を基に作成した雇用表から算出したものであり、雇用表では兼業農家は農林水産業と兼業先業種との両方に計上される
 2. 全産業の就業係数には帰属家賃は含まれていない

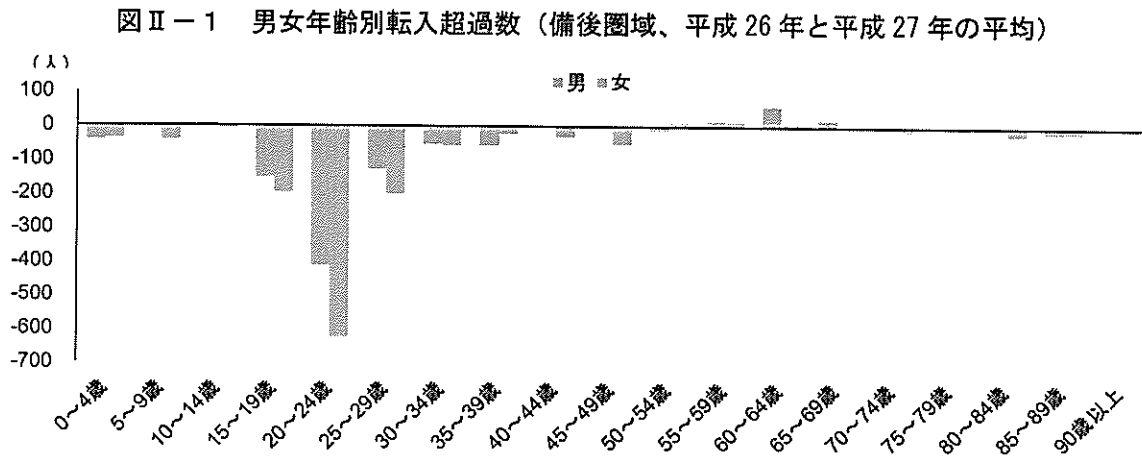
資料：福山市「平成24年備後圏域産業連関表」

備後圏域の社会動態

(男女年齢別転入超過数)

備後圏域の人口特性をみると、若年層の社会移動が注目される。男女別年齢別に統計が得られる直近の平成 26 年と平成 27 年の平均では、備後圏域は 2,118 人の転出超過であった。

特に 15 歳～34 歳の若年層の転出超過数が多く、さらに女性の転出超過数が男性を上回るという特徴がある。平成 26 年と平成 27 年の平均で、男性若年層の転出超過数は 749 人に上るが、女性若年層の転出超過数はそれを大きく上回る 1,081 人に達する。



資料：総務省「住民基本台帳人口移動報告」